

冬のセミナー
～上回生いきいきサロン～

日時：2019年2月28日
会場：龍谷大学深草キャンパス3号館地下食堂
参加：
京大(1)今出川(1)京田辺(2)BKC(2)京府大(5)
深草(5)瀬田(5)工織(5)橘(1)大津(1)彦根(2)
滋賀県大(5)奈教(2)奈良女(5)奈良(7)
※カッコ内は人数



13会員15キャンパス50人

00 アイスブレイキング

楽しみながら協同体験

アイスブレイキングで、無人島にショッピングモールを建設するゲームを行いました。このゲームでは無人島で快適に生活するという目的のため、班員で話し合いながら試行錯誤しました。それはまさに協同そのものを体現していました。

01 大学生協の想いを振り返る時間

大学生協の大事にしてきたことは？

大学生協の歴史をもとに大学生協が大切にしてきたことや協同について学びました。時代に合わせて協同という手段を用い、よりよい生活へと向かう姿勢は今も昔も変わらないものがあります。

個人が社会的課題にも目を向けられる現代は、満身に食事を取れない、自分の生活でいっぱいいな時代を越えてきたからこそ、というのを忘れてはいけません。

02 自分の言葉で語る時間

活動の価値を自分の言葉で語ろう。

自分たちの活動は大学生協の枠の中でどんな良さがあるのか？また、感覚的な「いいなあ」はどこから湧いてきて、どんな組合員の生活に繋がるのか？という問題を個人で考えました。

それによって自分の活動の価値を再認識して、言葉で理解することで新生児に自信を持って伝えられるようになることを目指しました。

03 コミュニケーションの時間

みんなの頭の中から言葉へ

「想いを振り返る時間」や「自分の言葉で語る時間」での学びや考えたことを、参加者同士で深め合いました。

ワールドカフェっていいですね。なんといっても会場にいる**みんなの頭の中を共有して広げて深めていって、全員が自分の思考を相対化できる**最適なツールだと思うのです。是非企画の案出しに使ってみてください。



様々な社会的課題に取り組むことができるし、自分の成長にもつながると気づけた！(京大1回生)

04 自大学の時間

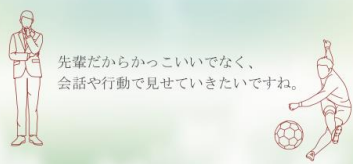
どんな先輩になるのか

これまで考えてきた大学生協らしさを自分たちの大学でどう新生に伝えていくか、どんな姿を新生に見せたいかを話し合いました。

総代会や新入学生委員が入ってきたときのアプローチを考えている人もいました。

カッコいい先輩になろう

4～5月にしっかり後輩に伝えてほしい。



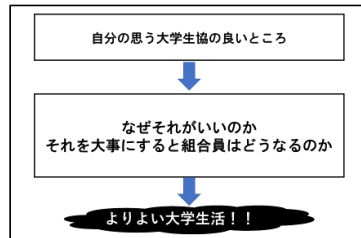
きれいごとにも思えることを本気でやれる仲間と環境があると気付いた！(奈良女1回生)

XX らしさとは

「らしさ」が難しいと感じた人へ！

難しいと思えたあなたは冬セミでよく考えた証拠です。本セミナーでは「大学生協らしさ」について考え、自分の活動の中に見つけ、深めていきました。「大学生協らしさ」とは簡単に言葉にできないかもしれませんが。だからこそそれぞれ違った経験や考えを言葉にし、共有することを目的としていました。

ワークシート



何よりもみんなが一つのことについて語り、考え合ったことが大切だと思います。

+A 企画長の想い

1人の先輩として行動で魅せよう！

本セミナーでは終始「カッコいい先輩になろう」と言い続けました。その心は、先輩の影響への期待です。

新生・保護者と学生組合員が直接関わる新学期活動で、**先輩として大学生活の経験をいきいきと語る姿は新生・保護者にどれ程の影響を与えるでしょうか。**僕はその先輩の影響が新学期活動の良し悪しに大きく関わることを知っています。さらに、その先の総(代)会や日常活動にもその影響力は連鎖していきます。

そんな影響力のある「カッコいい先輩」に今回の参加者がなってほしいと切に願っています！

その後どうですか？

冬セミから1カ月が経ちましたが、1人の先輩として行動で魅せていますか？カッコいい先輩を常に意識して活動していきましょう☆



京滋・奈良エリア学生事務局
[本溜聖]

